

保全活動日記 vol.24

2018年9月2日(日)

● 保全活動実施報告

- 参加人数：36名
- 活動内容： 多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。活動場所の傍らでは、信太山里山講座の草刈り等の活動実習も開催しました。

- 実施日：2018年9月2日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：晴れ



活動実施場所(草原化)

草原にネザサが優占すると、草原本来の生物多様性が低下し、草原環境を利用してきた昆虫や鳥などの生き物が減少してしまいます。

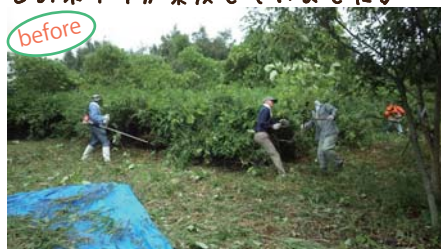
南西側草原エリアは、活動当初は大人の背丈ほどもあるネザサで覆われていましたが、毎年の草刈り保全活動を続けてきたことによって、ネザサの背丈が抑えられ、茎も少し柔らかくなりました。

今後も生物多様性の豊かな二次草原の環境復元をめざして、保全活動を続けていきます。

■ 草刈りの効果が徐々にあらわれてきています

平成28年7月10日

一昨年7月は大人の背丈を越えるほどのネザサが繁茂していました。



平成30年9月2日

背丈は腰高ぐらいになり、茎も細く作業が容易にねりました。



繁茂していたネザサを後退させました。

■ ネザサ・クズの除草

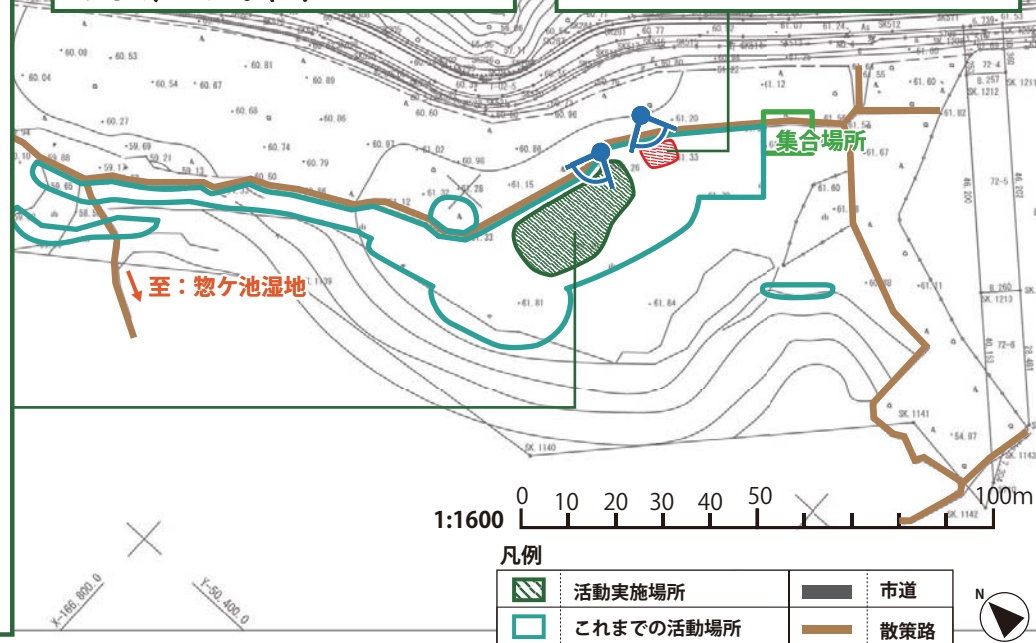


ネザサに絡みついた葛のワルに苦戦しながら、草原の草刈りを行いました。

■ 里山講座の開催



熟練者による指導のもと、刈払機を使った草刈りを体験して頂きました！



④ 里山トピック!

■ 草原の困った生き物

ムラクモカレハ (カレハガ科)

＼三輪さんからの解説／



ムラクモカレハのサナギ。



ひっくり返すと毒棘が・・・



ムラクモカレハの幼虫の体が毒棘で覆われているのは知られていますが、サナギになったものも毒棘を上手に葉っぱの裏から突き出していて、触れるともものすごく痛いんです。

■ 保全活動では悪戦苦闘の葛だけど、実は役にも立ってます!

クズの根っこ



＼田丸さんからの解説／

保全活動の草刈りでは厄介者のクズですが、昔から人の生活の役にも立ってきました。地下の塊根が葛もちなどの原料のクズ粉に成るのは有名ですが、若い花もてんぷらなどにして食べることができます。

クズの花



④ 信太山里山講座

刈払機などの安全な使い方!

信太山丘陵市有地の環境保全活動の一環として、信太山の自然を学び、自然と親しむための信太山里山講座を開催しています。

今回は、信太山丘陵市有地の草原エリアにおいて、活動でよく使うカマやナタ、刈払機（肩掛け式草刈機）などの安全な使い方を教えていただきました。

刈払機は、使いやすい高さになるように、ベルトを調節することが必要です。



刈払機は、手だけで扱うよりも、腰で左右に動かすほうが疲れにくいです。



▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

＼以下のワードで検索／

信太山丘陵市有地

検索

